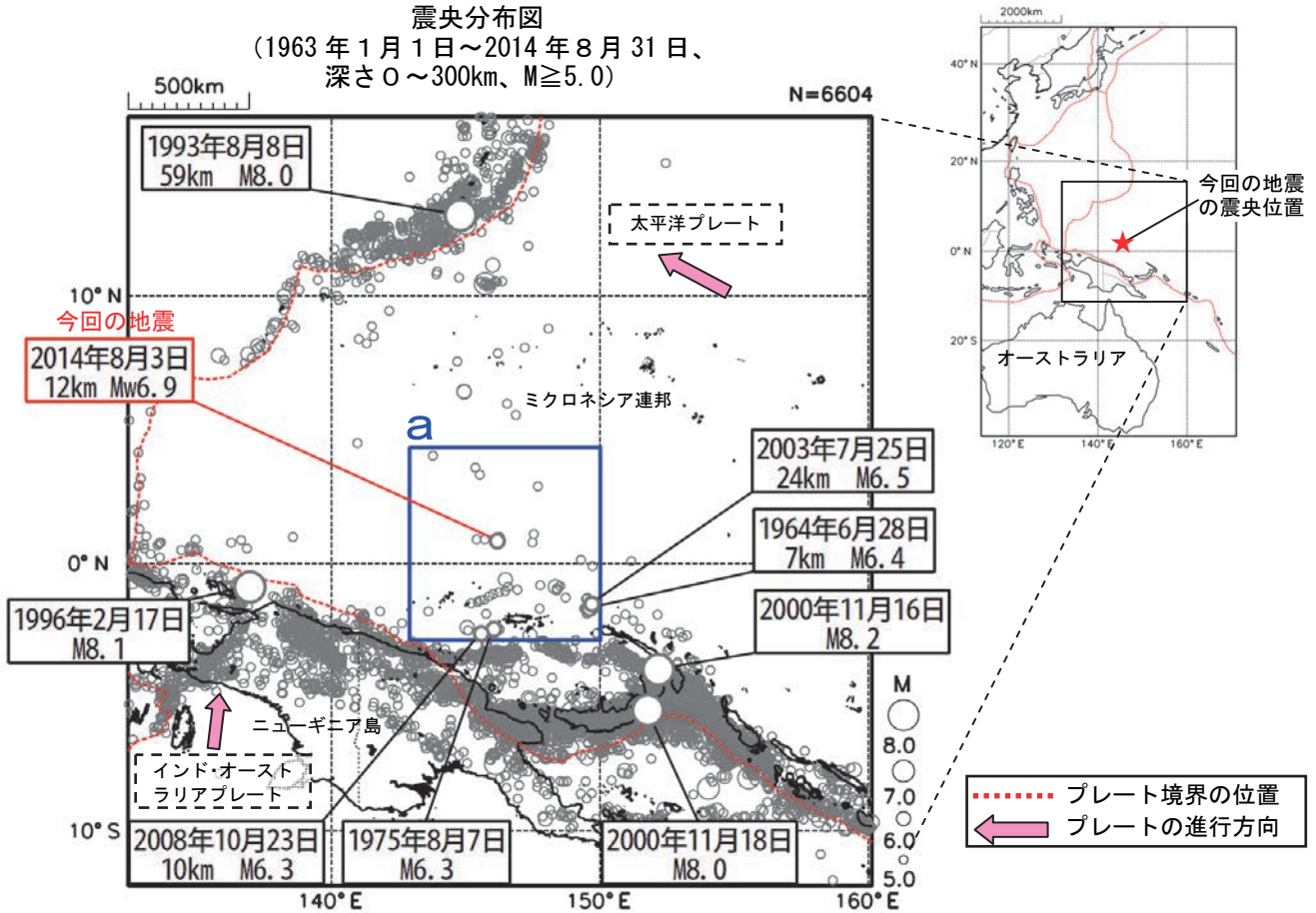


## 8月3日 ミクロネシア連邦の地震

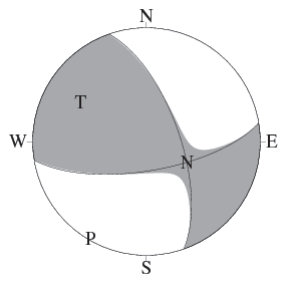
2014年8月3日09時22分（日本時間、以下同じ）に、ミクロネシア連邦（ニューギニア島の北方約600km）の深さ12kmでMw6.9の地震が発生した。この地震は太平洋プレート内で発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は北北東-南南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

気象庁は、今回の地震により、同日10時12分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「震源の近傍で津波発生可能性があります。日本への津波の有無については現在調査中です。」）を、また、同日11時30分に同情報（日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません。」）を発表した。

1963年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域a）ではM6クラスの地震が時々発生している。



今回の地震の発震機構  
(気象庁によるCMT解)



※本資料中、今回の地震の発震機構とMwは気象庁による。その他の震源要素は、米国地質調査所（USGS）による。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）\*より引用。

\*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.